

「野菜も、人も、電気も “循環”させていきたい」

(株)野菜くらぶ 太陽光発電所

49kW

※写真は別地点の発電所



「一緒に働く仲間とは“家族的”につながっていくのが、私の理想」と語る澤浦彰治さん。社内に託児所を設け、お母さんと子どもがつながりながら加工野菜などを製造するあたたかい会社の一角で、太陽光による発電がおこなわれています。「私たちは野菜づくりが仕事ですが、働く人とも、それを食べてくださる方とも、一緒に“循環”していきたい。エネルギーもまた、その循環のなかにある大切なものだと考えています」。東日本大震災が発生し、改めてエネルギーのあり方を考えさせられ、太陽光発電に挑戦することを決意した澤浦さん。孤軍奮闘の日々を重ねつつ、次第に周囲の賛同が得られたこれまでを振り返り、「再生可能エネルギーは、周りの人も明るくする力があるんだ!」と実感したといいます。

